



福井市水道事業ビジョン 2020【2024 中間見直し版】における各種施策や数値目標の達成状況について、令和6年度末時点における進捗状況を検証しました。

## 1 各種施策の進捗状況

### 基本目標1【水質管理の強化】

- 水質検査計画に基づく水質検査の実施：179 成分  
※北陸3県の水道事業体で唯一、水道G L P（日本水道協会が、水質検査に精度と信頼性を保証する認定制度）を取得しています
- 配水池の清掃、水道管の洗管作業を実施
- 鉛製給水管の解消を推進（R6 布設替件数：329 件）

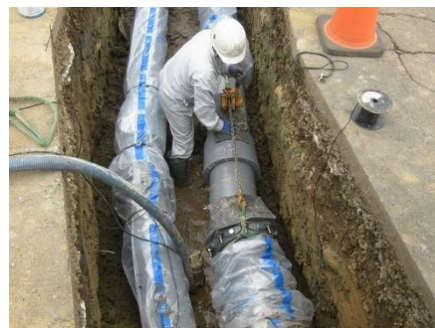
<水道G L P 認定証>



### 基本目標2【安定した水道水の供給】

- 安定した水源確保のため、井戸の揚水試験や水質検査を実施  
：52 箇所
- 漏水調査の実施：477 km
- 原目配水池の流量圧力調整設備を更新
- 無ライニング铸铁管（※）を更新：3.0 km  
※無ライニング铸铁管とは、管の内面に防食対策が施されていない铸铁管

<水道管の布設状況>



### 基本目標3【水道施設の耐震化】

- 浄水施設：九頭竜浄水施設更新について、官民連携導入可能性調査を実施（DB方式に決定）
- 配水池：原目配水池更新工事着手（DB方式）
- 重要給水施設配水管：223m更新
- 基幹管路：
  - 川西送水管 1,311m更新
  - 江端送水管 624m更新
  - その他導送配水管 362m更新

<ダクタイル铸铁管（※）の耐震性>



<ダクタイル铸铁管の布設状況>



※ダクタイル铸铁管（GX）とは、100年を超える使用が可能な高い耐震性を有する管のことで、本市では平成23（2011）年から採用しています。

# 1 各種施策の進捗状況

## 基本目標4【災害対策の強化】

- 応急給水体制の強化：給水コンテナ10基を追加確保
- 訓練の実施：BCP訓練（風水害訓練1回、地震訓練1回）等

<BCP訓練（風水害）>



<BCP訓練（地震）>



## 基本目標5【お客様サービスの向上】

- 水道料金におけるスマートフォン決済の継続実施
- 水道事業に関するPR、情報発信

<上下水道のミカタの発行>  
年3回 全戸配布



<上下水道展の開催>  
約1,200人來場



<上下水道すごろく配布>  
配布枚数：約1,400枚



## 基本目標6【経営基盤の強化】

- 企業債残高の削減額：約1.8億円
- 簡易水道事業の統合による効率化
  - ・下味見地区簡水事業のR8統合完了に向け、西河原配水池等を築造

## 基本目標7【人材の育成】

- 局内技術研修センターによる研修：11研修  
(給水車運転操作、非常用貯水装置操作、漏水調査に関する研修会等)
- 日本水道協会主催による研修への参加：5研修  
(水道技術者ブロック別研修会、水道技術管理者研修会、事務講習会、技術講習会、技術技能研修)

<給水車運転操作研修会>



<非常用貯水装置操作研修会>



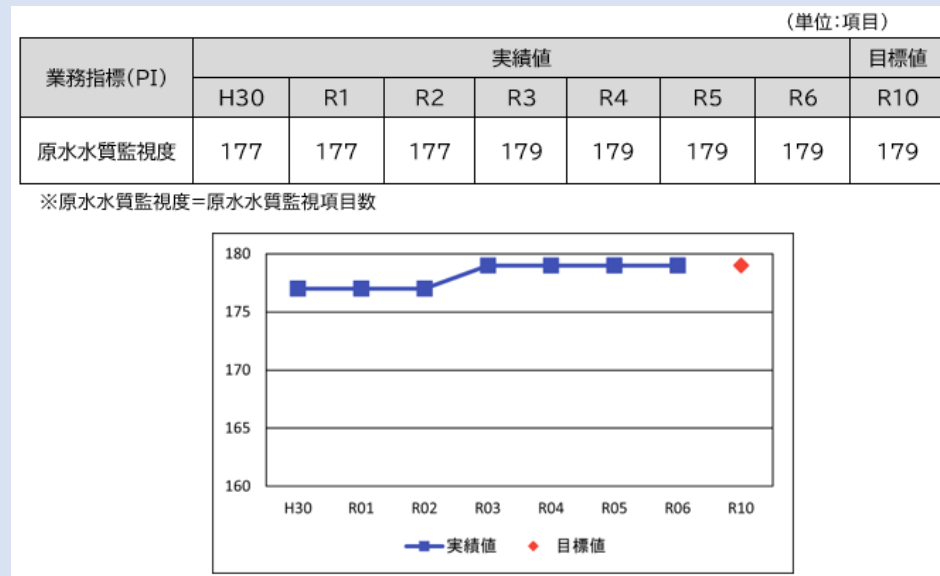
## 基本目標8【環境負荷の低減】

- 建設副産物のリサイクル率：58.0%（目標値50%以上）
- 浄水発生土の有効利用率：100.0%（目標値100%）
- 配水量1m<sup>3</sup>あたりの電力消費量：0.41KWh/m<sup>3</sup>（目標値0.40KWh/m<sup>3</sup>）

## 2 各種指標の推移と達成度評価

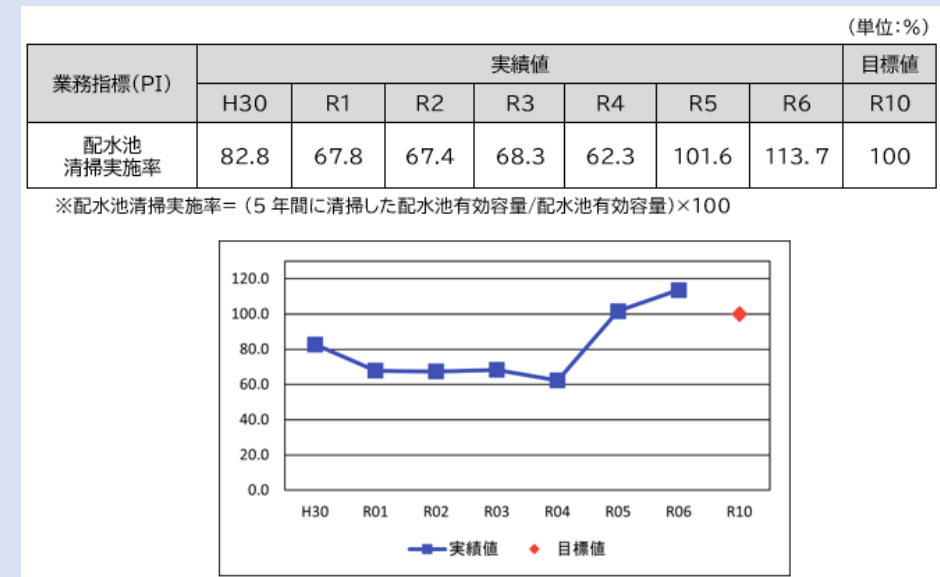
### No. 1 原水水質監視度

評価：◎



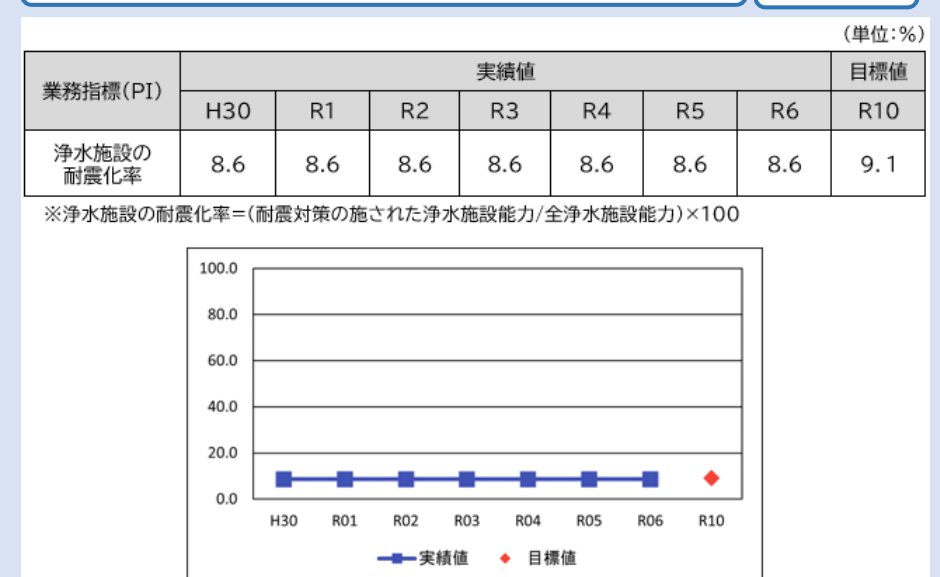
### No. 4 配水池清掃実施率

評価：○



### No. 7 浄水施設の耐震化率

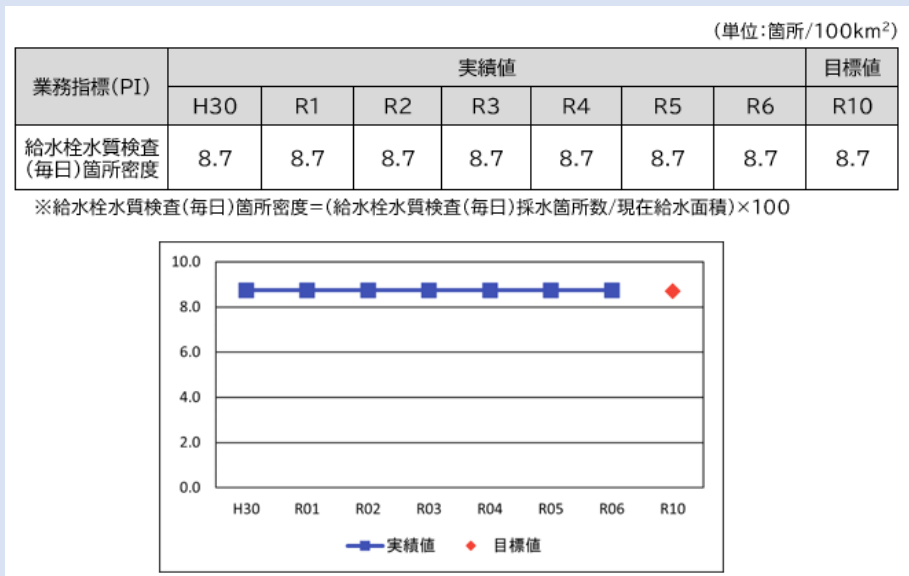
評価：○



評価 (=R10目標値達成の見込み) … ◎ : 極めて高い ○ : 高い △ : 低い

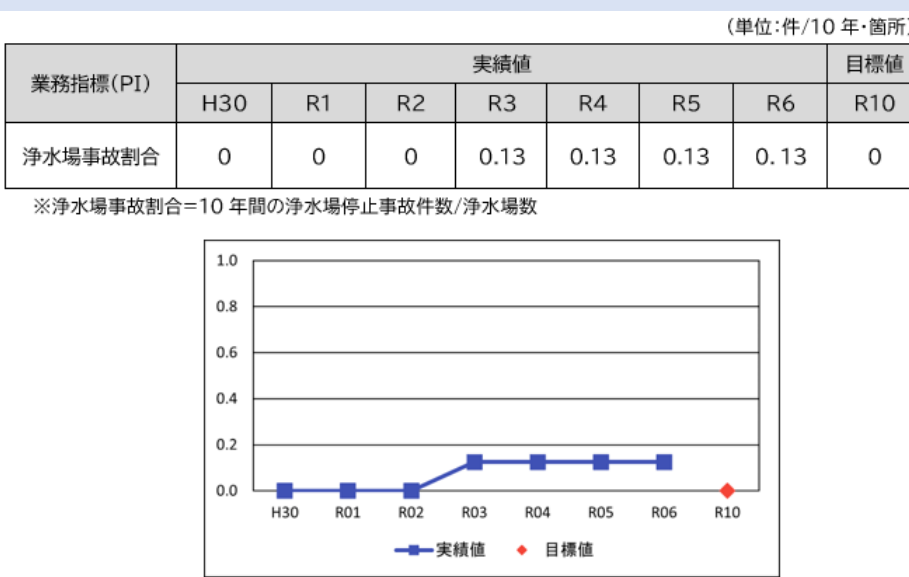
### No. 2 給水栓水質検査(毎日)箇所密度

評価：◎



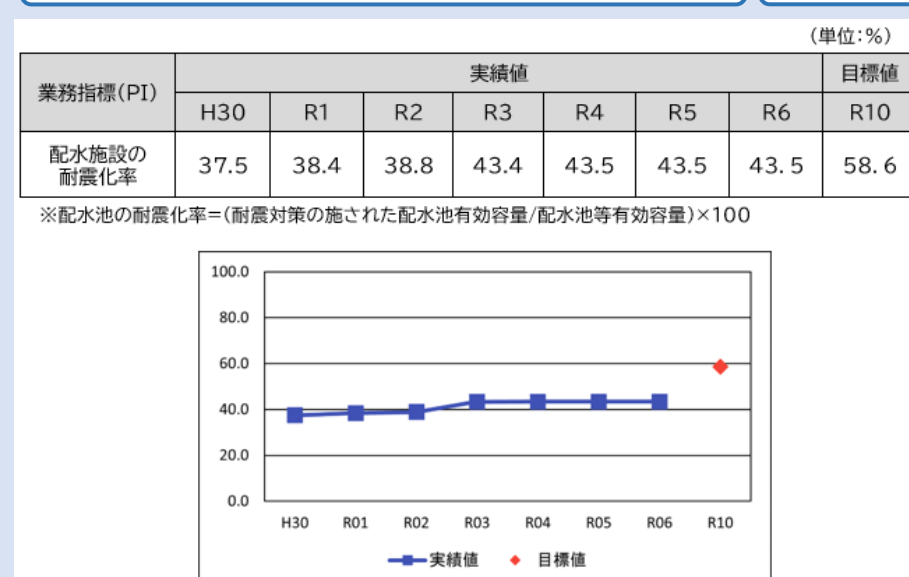
### No. 5 浄水場事故割合

評価：△



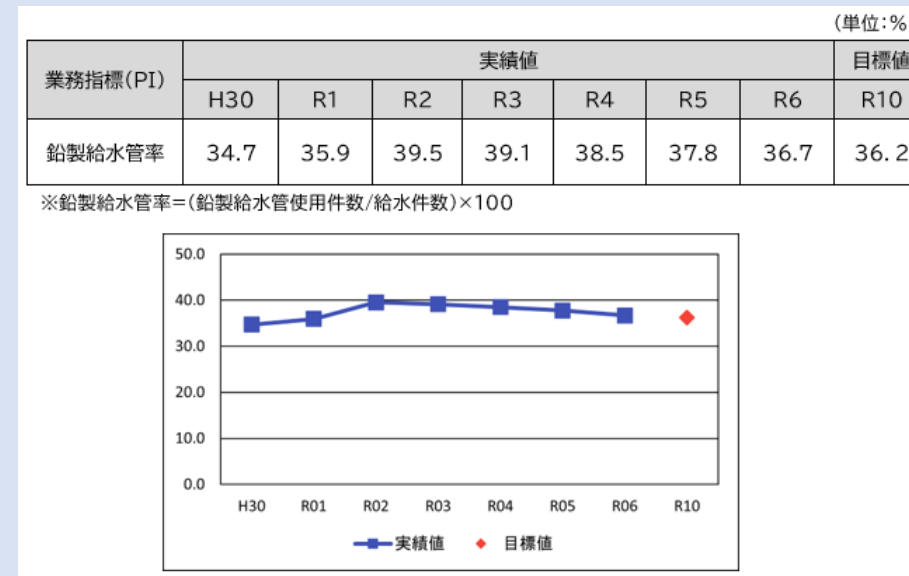
### No. 8 配水池の耐震化率

評価：○



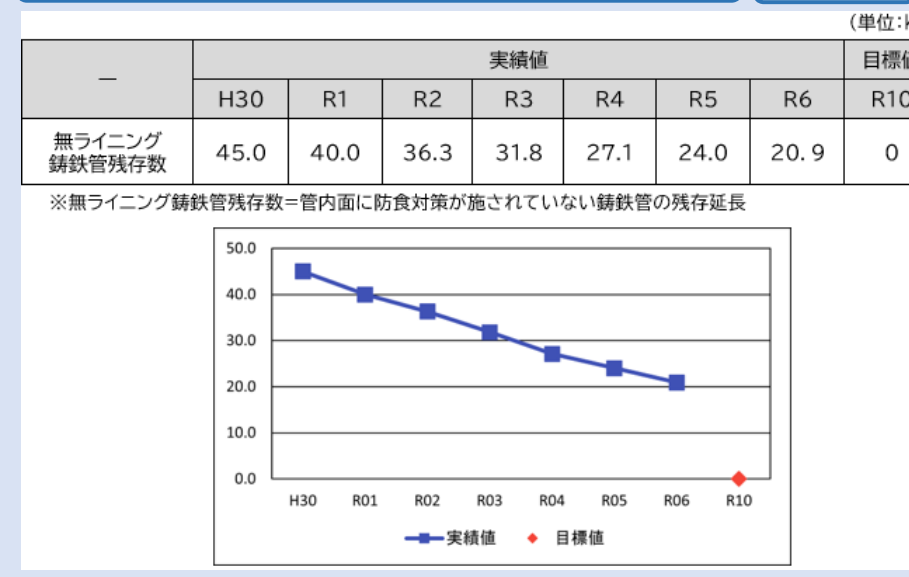
### No. 3 鉛製給水管率

評価：○



### No. 6 無ライニング鑄鉄管残存数

評価：○



### No. 9 重要給水施設配水管路の耐震管率

評価：○



## 2 各種指標の推移と達成度評価

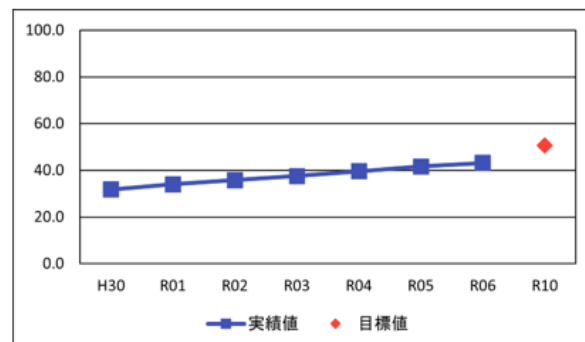
No. 10 基幹管路の耐震適合率

評価：○

(単位:%)

| 業務指標(PI)   | 実績値  |      |      |      |      |      |      | 目標値  |
|------------|------|------|------|------|------|------|------|------|
|            | H30  | R1   | R2   | R3   | R4   | R5   | R6   | R10  |
| 基幹管路の耐震適合率 | 31.8 | 34.0 | 35.8 | 37.5 | 39.6 | 41.7 | 43.2 | 50.6 |

※基幹管路の耐震適合率=(基幹管路のうち耐震適合管延長/基幹管路延長)×100



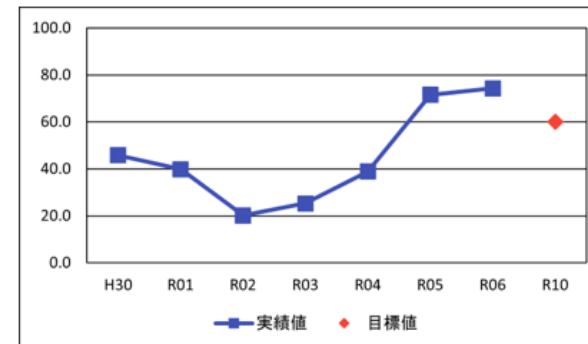
No. 11 水道施設見学者割合

評価：○

(単位:人/1000人)

| 業務指標(PI)  | 実績値  |      |      |      |      |      |      | 目標値 |
|-----------|------|------|------|------|------|------|------|-----|
|           | H30  | R1   | R2   | R3   | R4   | R5   | R6   | R10 |
| 水道施設見学者割合 | 45.8 | 39.9 | 20.1 | 25.3 | 38.8 | 71.5 | 74.3 | 60  |

※水道施設見学者割合=見学者数 / (現在給水人口/1,000)



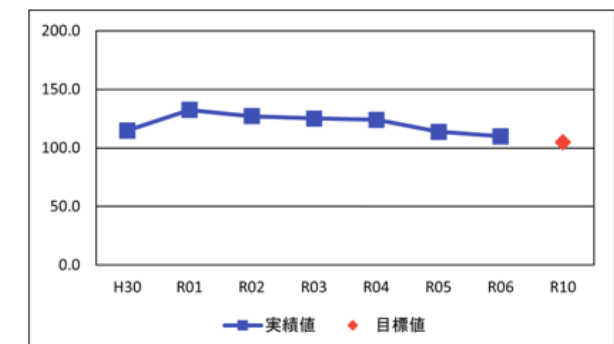
No. 12 経常収支比率

評価：◎

(単位:%)

| 業務指標(PI) | 実績値 |     |     |     |     |     |     | 目標値 |
|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
|          | H30 | R1  | R2  | R3  | R4  | R5  | R6  | R10 |
| 経常収支比率   | 115 | 132 | 127 | 125 | 124 | 114 | 110 | 105 |

※経常収支比率=(経常収益 / 経常費用) × 100



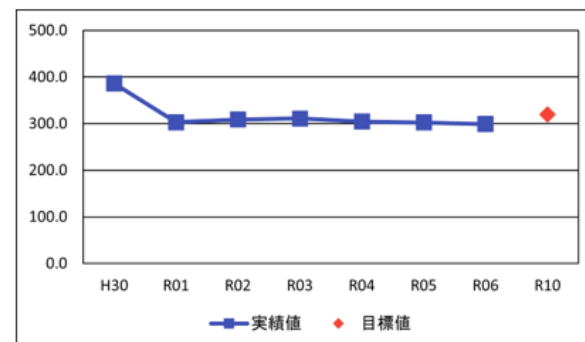
No. 13 給水収益に対する企業債残高の割合

評価：◎

(単位:%)

| 業務指標(PI)         | 実績値 |     |     |     |     |     |     | 目標値 |
|------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
|                  | H30 | R1  | R2  | R3  | R4  | R5  | R6  | R10 |
| 給水収益に対する企業債残高の割合 | 386 | 303 | 309 | 311 | 304 | 303 | 299 | 320 |

※給水収益に対する企業債残高の割合=(企業債残高/給水収益)×100



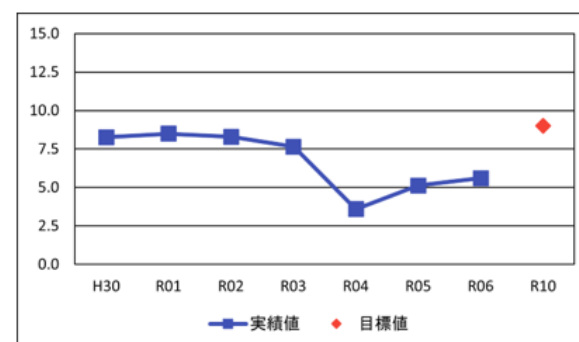
No. 14 内部研修時間

評価：△

(単位:時間/人)

| 業務指標(PI) | 実績値 |     |     |     |     |     |     | 目標値 |
|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
|          | H30 | R1  | R2  | R3  | R4  | R5  | R6  | R10 |
| 内部研修時間   | 8.3 | 8.5 | 8.3 | 7.7 | 3.6 | 5.1 | 5.6 | 9   |

※内部研修時間=(職員が内部研修を受けた時間×受講人数) / 全職員数



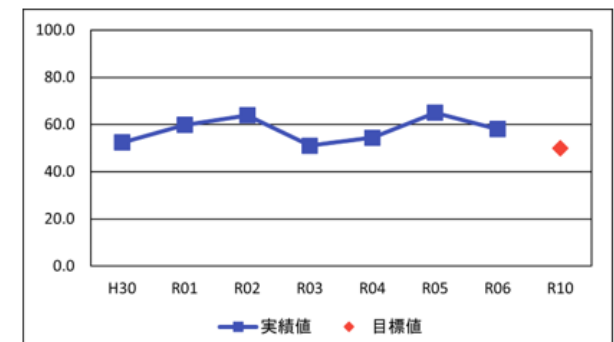
No. 15 建設副産物のリサイクル率

評価：◎

(単位:%)

| 業務指標(PI)     | 実績値  |      |      |      |      |      |      | 目標値  |
|--------------|------|------|------|------|------|------|------|------|
|              | H30  | R1   | R2   | R3   | R4   | R5   | R6   | R10  |
| 建設副産物のリサイクル率 | 52.3 | 59.8 | 63.9 | 51.0 | 54.4 | 65.0 | 58.0 | 50以上 |

※建設副産物のリサイクル率=(リサイクルされた建設副産物量 / 建設副産物発生量) × 100



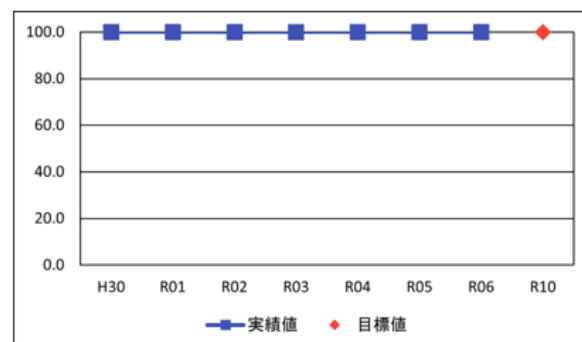
No. 16 浄水発生土の有効利用率

評価：◎

(単位:%)

| 業務指標(PI)    | 実績値 |     |     |     |     |     |     | 目標値 |
|-------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
|             | H30 | R1  | R2  | R3  | R4  | R5  | R6  | R10 |
| 浄水発生土の有効利用率 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 |

※浄水発生土の有効利用率=(有効利用土量/浄水発生土量)×100



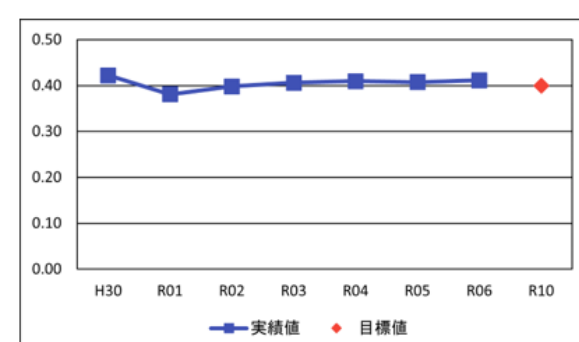
No. 17 配水量 1 m³当たり電力消費量

評価：◎

(単位:kWh/m³)

| 業務指標(PI)        | 実績値  |      |      |      |      |      |      | 目標値 |
|-----------------|------|------|------|------|------|------|------|-----|
|                 | H30  | R1   | R2   | R3   | R4   | R5   | R6   | R10 |
| 配水量1m³ 当たり電力消費量 | 0.42 | 0.38 | 0.40 | 0.41 | 0.41 | 0.41 | 0.41 | 0.4 |

※配水量 1m³ 当たり電力消費量=電力使用量の合計/年間配水量



### 【指標の分析】

- ・耐震化については、ほぼすべての水道施設で目標値を未達成であることから、大規模化・頻発化する地震に備え、計画的かつ着実に耐震化を進めていく必要があります。
- ・「No. 12 経常収支比率」、「No. 13 給水収益に対する企業債残高の割合」は、いずれも目標値を達成し推移しており、現時点では健全な経営状態といえます。

### 3 決算状況

#### 【決算状況】

※金額は百万円単位で四捨五入 ( ) 内の数値は対前年度増減率

収益的収支：収益面では、人口減少に伴う給水収益や加入金の減などにより、営業収益は41億4,900万円(△1.8%)となりました。

<福井市水道マスコット「アクア」>

また、営業外収益は5億6,600万円(+0.6%)となり、これらを合わせた総収益は47億1,700万円(△1.5%)となりました。

費用面では、修繕費や漏水補修工事に係る費用の増などにより、営業費用は41億1,800万円(+2.9%)となりました。

また、営業外費用は過年度分水道料金還付金などの減により1億7,300万円(△14.4%)となり、

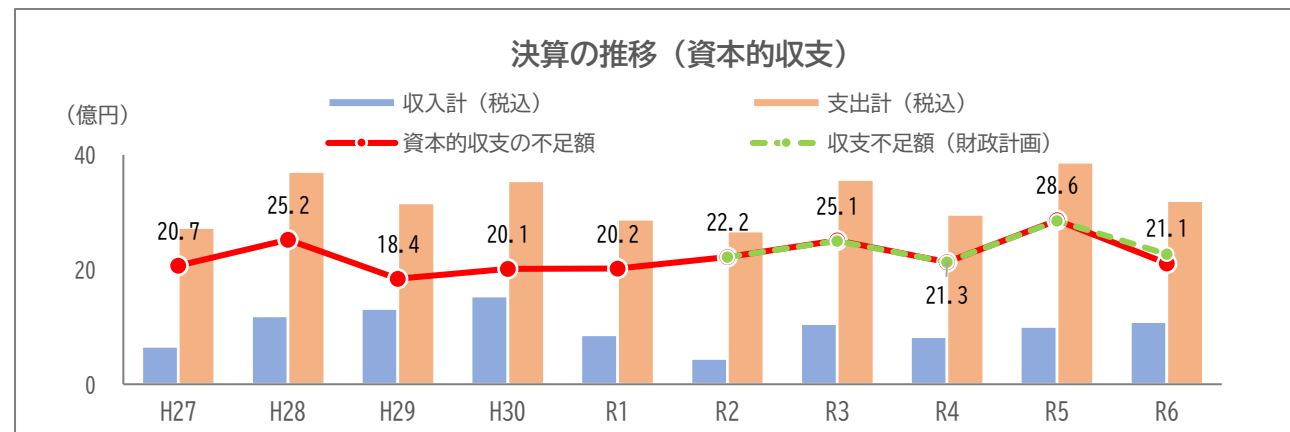
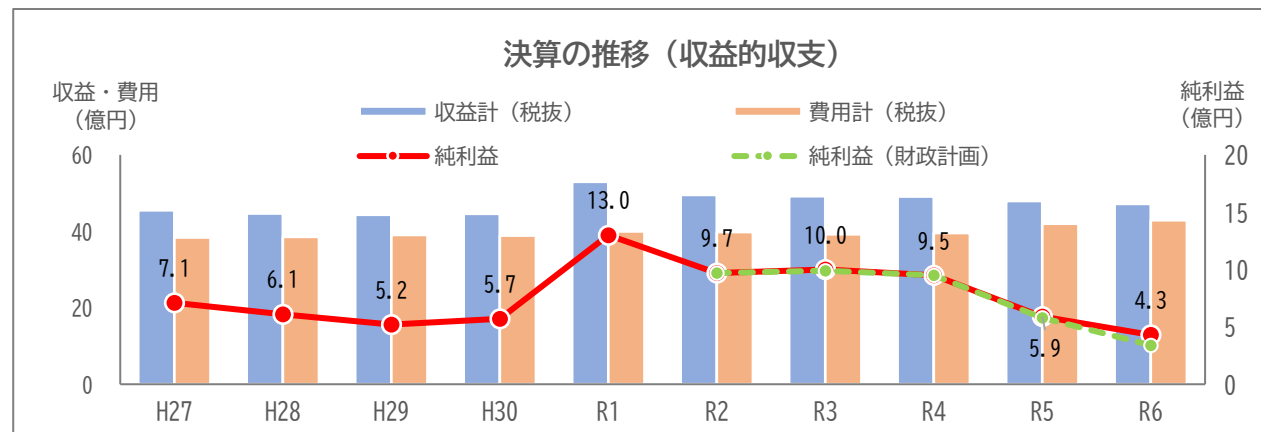
これらを合わせた総費用は42億9,000万円(+2.0%)となりました。

この結果、当期純利益は4億2,700万円(△26.7%)となりました。

資本的収支：収入面は、企業債の増などにより、10億8,600万円(+7.1%)となりました。

支出面では、第8次整備事業繰越による資本的支出の減などにより、32億300万円(△17.1%)となりました。

この結果、資本的収支の不足額は21億1,700万円(△25.8%)となり、留保資金や収益的収支で生じた利益等で補填しています。



#### 【財政計画（水道事業ビジョン2020【2024中間見直し版】）との比較】

【単位：億円】

|      | 収益的収支 |      |     | 資本的収支 |      |      |
|------|-------|------|-----|-------|------|------|
|      | 収益    | 費用   | 純利益 | 収入    | 支出   | 不足額  |
| 財政計画 | 47.6  | 44.2 | 3.4 | 15.5  | 38.1 | 22.7 |
| R6決算 | 47.2  | 42.9 | 4.3 | 10.9  | 32.0 | 21.1 |

・収益的収支については、政府の電気代補助支援に伴う動力費の減少などにより、純利益が、水道事業ビジョン2020【2024中間見直し版】（以下「ビジョン見直し版」という）の計画値よりも増加しました。

・資本的収支については、第8次整備事業繰越による資本的支出の減少により、資本的収支の不足額が、ビジョン見直し版の計画値よりも減少しました。